題名：外来がん化学療法における薬剤師外来の実施状況と薬学的介入内容の検討

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 （承認番号）	外来がん化学療法における薬剤師外来の実施状況と薬学的介入内容の検討 （　　－　　）
当院の研究責任者 （所属）	京谷　充崇 （薬剤部）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	横浜労災病院（以下、当院）では、外来がん化学療法を受ける患者さん（消化器内科、外科、乳腺外科）に対して医師の診察前に薬剤師が面談を行う薬剤師外来を実施しています。副作用症状などの聞き取りや、血液検査などの結果を確認し、支持療法薬の提案や抗がん剤の休薬・減量などの提案を行っています。薬剤師がこれらの情報を医師の診察前に電子カルテに記載しておくことで、医師は情報を整理して治療継続有無の判断がスムーズに行えることが期待できます。今回、薬剤師外来業務の実施状況とその内容を調査します。
研究の方法 （利用する試料・情報）	薬剤師外来で面談した患者さんを対象とし、診療科、がん種、レジメン、副作用の種類と Grade（CTCAEv5.0-JCOG）、介入内容および介入に対する医師の採択率を電子カルテより後方視的に調査します。 研究実施期間：　2026 年　11 月～　2027 年　3 月
利用する試料・情報の 該当期間	2025 年　10 月～　2026 年　9 月
試料・情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：京谷　充崇（所属：薬剤部）
備考	なし